

平成29年度地方創生交付金関係事業の検証・評価結果

No	交付対象事業の名称	交付金の種類	交付金実績額	本事業におけるKPI(重要業績評価指標)				外部有識者からの評価		次年度以降の取組等	
				指標	事業開始前	実績値	平成29年度KPI	事業の評価	外部有識者からの意見		
1	ASEAN人材育成拠点構築事業	地方創生推進交付金	82,477円	指標①	ASEANからの留学生増加による経済波及効果	1,887,888千円	296,592千円	248,640千円	基本目標を達成するために、非常に効果的であった。	<ul style="list-style-type: none"> 取組後のフォローアップも比較的うまくいっている。 次年度以降について、同じ取組だけでなく、ラグビーワールドカップ等も見据えてターゲットの再考等が必要だ。 県内就職者の単年度増加数や県内起業者の単年度増加数を考慮すると、APUだけでなく、別府大学や別府溝部学園短期大学とも連携すると取組の効果が増すと考えられる。 	<ul style="list-style-type: none"> おおいASEAN交流促進事業 ASEAN人材育成拠点シンポジウムの開催 実施主体:おおいASEAN交流促進協議会 メンバー:大分県企画振興部審議監 別府市観光戦略部長 別府商工会議所会頭 一般社団法人別府インターナショナルプラザ代表理事 海外戦略加速化事業 帰国留学生ネットワークの構築 実施主体:市
				指標②	留学生県内就職者の単年度増加数	-	-	40人			
				指標③	留学生県内起業者の単年度増加数	-	-	10人			
2	「モノ」から「コト」への旅ーイノベーションの「K点」越えをめざす4『B』」深化計画	地方創生推進交付金	14,575,680円	指標①	新たな商品・サービス(モノ・コト)支援による商品・サービスの販売額	0千円	7,003千円	50,000千円	基本目標を達成するために、相当程度効果があった。	<ul style="list-style-type: none"> 留学生の起業と県内就職者数の観点から、ASEAN人材育成事業と関連性を持たせるのも1つの手法と考えられる。 KPIの販売額の目標値が高く設定しすぎている。 現行の商品のみではKPIの販売額の達成は厳しいと思う。商品開発にもう少し時間をかけてさらに磨いてほしい。 Creative Workshopに参加した方々の満足度や将来の展望などのアンケートを行い、その後の参加者の事後調査を実施する必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 3分類の取組:継続するものについてはH29を踏まえ適宜改善を図る。 情報発信に関する事業 H29に引き続きビームスのプロデュースによる商品開発事業の実施 開発商品販売促進事業を実施 「開発商品の販促につながる新たな別府ブランドの冊子作成、web配信」 「販路開拓、新商品の展示会等」 開発商品を湯のまちふるさと応援券付金の返礼品へ加入 Creative Workshop in Beppu vol.3の実施 ビームス等における「修行経験」(事業への体験参加等)の実施
				指標②	新たな商品・サービス(モノ・コト)支援による商品化数(サービス含む)	0件	32件	10件			
				指標③	人材育成や交流促進事業における勉強会やイベントへの参加者数(起業希望者、市内外企業、学生等)	0人	117人	100人			
				指標④	人材育成事業における新たな人材育成数(起業希望者、市内外企業、学生等)	0人	39人	10人			
3	ICT等を活用した観光産業の生産性向上	地方創生推進交付金	8,728,857円	指標①	観光客一人当たりの消費額	11,950円	-983円	168円	基本目標を達成するために、効果があった。	<ul style="list-style-type: none"> 外国人観光客が増加している中、iliの設置自体は悪くないが、現場であまり使われていない。ただし、非常に特徴的な翻訳機なので勝ち残る可能性はある。 技術の進歩、外国人観光客が増加する中で、ICTは必要不可欠なツールであり、事業としては将来性がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 通訳ICTツールの導入(通訳ICTツール利用費用(本展開導入店舗拡大) 観光回遊ルート検索システムの構築【9,000千円】 デジタルサイネージを活用し、二次交通等の検索システムの構築 H29のデータ収集・分析を行い、観光客のニーズにあった内容にカスタマイズする Webサイト専門アドバイザーの派遣(専門家派遣費用(本展開導入事業者拡大)など
				指標②	観光客数	8,223,200人	862,857人	58,200人			
				指標③	労働生産性(付加価値額/従業員数(飲食・サービス業))	1,216,126円	-	17,216円			
4	別府は地球の中心・FITはBEPPUをめざすー外国人観光客への「OMOTENASHI」力向上とアクティブシニアの活躍の「場」創出事業	地方創生推進交付金	4,650,000円	指標①	観光客数(外国人観光客)	352,900人	150,034人	16,600人	基本目標を達成するために、相当程度効果があった。	<ul style="list-style-type: none"> インターコンチネンタルも活かして富裕層を連泊させるためには、アクティビティを充実させる必要がある。 富裕層向けの高付加価値アクティビティを検討するのは非常に難しいため、実績のある事業者を選定し、そのノウハウを活用すべき。 	<ul style="list-style-type: none"> 外国人観光客案内所(別府インターナショナルプラザによる別府駅案内所・鉄輪地域案内所)の運営 24時間外国人観光客コールセンターの整備 外国人観光客宿泊者数調査及び検証 体験型アクティビティ創出事業 海外富裕層をメインターゲットとした体験サービスの充実及び県産品の販売力強化
				指標②	観光客一人当たりの消費額(外国人宿泊客)	21,174円	-821円	21,439円			
				指標③	社会増減	-169人	-312人	-144人			
5	別府人よ！竹産業に輝きたる光を浴びせよー竹産業イノベーション創出事業	地方創生推進交付金	3,959,860円	指標①	竹細工製作者市内在住者の増加数累計	3人	2人	9人	基本目標を達成するために、効果があった。	<ul style="list-style-type: none"> ひとつの竹製品が完成するまでに職人1人でやっているため時間がかかり過ぎ、多くを生産できないことから、売上増、利益増につながらない。 構造的な問題の解決を図る必要がある。 伝統産業を残すうえで、世界に冠たる竹細工職人がいるという魅力を活かし、外国人向けの商品開発やブランディングの確立を目指してほしい。 来年のラグビーワールドカップに向けて欧米の方に高額で買ってもらうための仕掛けやチャレンジもしてみてもどうか。 	<ul style="list-style-type: none"> 別府発ブランド立ち上げ・別府ブランドの製品化・販路拡大(国内外への販売と有名美術館等への展示)・人材育成システム構築(技術伝承等)・試作品の製品化による竹細工従事者(雇用者)の増
				指標②	竹細工訓練センター入校者の内移住者数	6人	8人	7人			
				指標③	竹細工従業者数	-	7人	6人			
6	伝統的工芸品とインバウンドの連結拠点としての「べっぶ竹の駅(Beppu Bamboo Base)」整備プラン	地方創生拠点整備交付金	32,028,236円	指標①	別府市竹細工伝統産業会館入館料収入	1,965千円	-360千円	0千円	基本目標を達成するために、非常に効果的であった。	<ul style="list-style-type: none"> バリアフリーにも配慮している点が評価できる。 新しいものができたときは市民に早期に見ていただきたいので、効果的なプロモーションをもっとしてほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> 展示室の改装やミュージアムショップ&カフェの新設により、リピーターを含めた来場者の増加を目指すため、情報発信を継続して行う。 より魅力ある展示の充実を図るとともに、企画展の実施などを充実させる。
				指標②	竹細工製作者市内在住者の増加	0人	2人	2人			
				指標③	新たな雇用創出数	0人	2人	5人			
7	翔べ！起業・創業の旋律を奏でる別府版「稼ぐ力」増強計画	地方創生推進交付金	7,134,297円	指標①	消費額(国内観光客)	93,070百万円	-10,976百万円	1,741百万円	基本目標を達成するために、効果があった。	<ul style="list-style-type: none"> 創業支援に加え、労働者不足の問題を同時進行に解決していく必要がある。 県の起業支援事業との連携を検討してほしい。 起業したい人がいてもオフィスやスペースが不足していると感じる。 起業支援がうまくいっても、その後のキャッシュフローで苦慮する事業者が多いため、起業後1、2年の支援も必要ではないか。 障がい者や学生、高齢者などと分けずに多文化共生と捉えて一体的に取り組むことも必要だ。 	<ul style="list-style-type: none"> 別府らしさを出した起業創業支援事業 空き家対策を兼ねた移住定住促進事業 別府市の土産物として開発された新商品の販路開拓 学生の地元就職・起業促進、さらには別府ブランドの世界への発信のため、「別府国際大同窓会」の開催 インバウンド対策事業 ICT活用による観光産業生産性向上事業 SNSを活用した観光ニーズ調査、アンケートによる行動分析調査
				指標②	消費額(外国人観光客)	5,668百万円	1,440.7百万円	909百万円			
				指標③	B-biz LINKの支援による起業件数	0件	2件	2件			
				指標④	個人市民税所得割の納税義務者数	47,145人	498人	47,155人			